

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山北地区体育施設(8施設)	評価対象年度	令和 2 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人 さんぼくスポーツ協会	所管課	生涯学習課
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日(3年間)	評価者(課長)	大滝 寿

①事業実績

利用実績	別紙「令和2年度山北地区体育施設使用実績」のとおり
サービス向上の取り組み	利用者からの意見を理事会及び利用団体調整会議で検討を行うとともに、職員提案を積極的に取り入れサービスの向上を積極的に行っている。

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (30年度)	前年度 (元年度)	当該年度 (2年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	26,196	32,754	34,004	92,954	基本協定額:102,561,845円	
	利用料金	483	395	476	1,354		
	自主事業収入	6,890	590	398	7,878		H30クラブ支援補助事業収入含む
	その他	134	113	73	320		
	計	33,703	33,852	34,951	102,506		
支出	管理経費	26,464	33,373	34,602	94,439		
	(うち人件費)	11,617	16,019	16,710	44,346		
	(うち光熱水費)	3,161	2,707	2,610	8,478		
	(うち修繕費)	848	841	970	2,659		
	(うち委託料)	9,054	7,703	8,059	24,816		
	自主事業費	6,975	45	15	7,035	H30クラブ支援補助事業経費含む	
計	33,439	33,418	34,617	101,474			
差引		264	434	334	1,032		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) ・利用団体調整会議を開催し、利用者からの意見を取り入れながら、市民の平等な利用確保に努めている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	5	8.0	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	4	3.2	
(評価理由) ・各施設に設置してあるアンケート箱への投書及び窓口での意見聴取アンケートの収集を積極的におこない、利用者ニーズを把握し迅速な対応がおこなわれた。今後も更に利用者ニーズの把握に努めてもらいたい。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由) ・職員で対応可能な作業等については、業者委託をせず経費削減を行う姿勢がみられる。 ・会計処理は口座を区別し適切に行われている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由)				
<p>・担当課との連絡、連携は密に図られており、職員・代行員の不在時に発生する事故・施設・備品等の発生に備え連絡体制を明確にし対応できるようにしている。</p> <p>・担当者のスキルアップについて、今後もスタッフ間の情報共有や研修会への参加等により更に向上していただきたい。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由)				
<p>・一部施設において老朽化が進んでいる状況ではあるが、法令に基づく点検や定期的な管理がされている。</p>					

④総合評価

評価点合計	85.2	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

当該年度の管理運営にあつては、感染症対策に応じた施設利用により、通常営業ではない状況下であつたが、利用者を最優先に考えた管理運営がなされた。今後も市民の要望やスポーツ振興に寄与する企画や自主事業の開催等を通じて、施設全体の利用者増加に向けた取り組みを進めてもらいたい。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

今後とも適切な施設管理と親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上を目指して施設運営にあたってもらいたい。令和2年度は感染症対策の影響を受け例年と異なる運営となつたが、次年度は、体育施設が与える恩恵及び地域福祉の一層の増進が図られるよう期待します。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。